

# BitfuryのExonumブロックチェーンフレームワークがJavaコミュニティで利用可能に

2018年6月18日、アムステルダム

BitfuryグループのExonumチームは今日、長い間待ち望まれていた安全で、高速なフレームワークJavaバインディングを公開しました。これによりJava開発者がプライベートブロックチェーン用サービスをExonum上に構築できるようになります。

Javaバインディングは、Javaコミュニティにとって必要不可欠な開発ツールになることを目指しています。Exonumをカスタム・ビジネスロジック付きサービスに拡張できるインターフェース搭載、更にはサードパーティJavaアプリケーションをExonumブロックチェーンと統合するためのソフトウェア開発キット（SDK）も提供します。

Exonum-Javaバインディングはオープンソースとなっており、GitHubのこちらのリンクから利用可能です。

<https://github.com/exonum/exonum-java-binding>.

Java開発者達は、自らのプログラミング言語で、独自のサービス開発をすると同時に、Rustで書かれたコアフレームワークの恩恵を受けることができます。その高い安全性とパフォーマンスからExonumは政府や企業にとって魅力的であり、Javaコミュニティが参加した今、Exonum採用の可能性が更に広がりました。

Exonumチーム責任者のGleb Palienko氏は「私たちはバインディングを開発する上で世界で最も人気があり大きな開発者コミュニティを持つJavaを最優先事項に捉えていました」と語りました。（参照：ref. <https://stackify.com/popular-programming-languages-2018/>）

現在公開されているものはアルファバージョンであり、開発者がブロックチェーン開発の基礎を学ぶ、そしてExonum上でのサービスの開発の仕方を学ぶ“遊び場”を提供することに狙いがあります。

Palienko氏は「それと平行しながら、Exonumチームはプラットフォームをリリース可能な状態にするために必要な仕様の追加をしており、もうすぐ実環境に即導入可能なソリューション実装のできるJava Binding 1.0を公開する予定です」と述べました。

Exonumチームは皆さんからのフィードバックをお待ちしております。何かご質問がある方はGitterチャット (<https://gitter.im/exonum/exonum-iava-binding>)、またはEmailよりご連絡ください。 ([exonum@bitfury.com](mailto:exonum@bitfury.com).)

### Bitfuryグループとは：

世界有数のフルサービスブロックチェーンテクノロジー企業であり、ブロックチェーンエコシステムにおける民間最大のインフラストラクチャプロバイダの一つです。様々な企業、政府、団体および個人がブロックチェーン上で資産を安全に移動するために必要なソフトおよびハードウェアソリューションの開発・提供をしています。

### Exonumとは：

2017年7月にBitfuryグループが企業・政府向けに立ち上げ、ブロックチェーンアイデアやソリューションを安全、かつ簡単に実現することのできるオープンソース・ブロックチェーン・オープンソースです。ビットコイン・ブロックチェーンにおいて高いトランザクション処理能力と他に類を見ない安全性だけでなく、透過性、さらにはスマート・コントラクトを提供します。ブロックチェーンベースのソリューション開発を希望される方は誰でもご利用可能であり、様々な賞を獲得しているBitfuryのソフトウェア・エンジニア・チームが既に多くの案件でExonumを使用しています。

### **Bitfuryメディアコンタクト**

Rachel Pipan

[rachel.pipan@bitfury.com](mailto:rachel.pipan@bitfury.com)